

宮古市で「森と家の見学会」を実施 ―地域材を活用した「みやこ型住宅」をPR

去る11月13日宮古・下閉伊モノづくりネットワーク林産部会主催の『宮古・下閉伊「森林」から「家」までの見学ツアー』を開催しました。

今回のツアーは、森林や木材加工施設、住宅の見学を通じて、地域材を活用した「みやこ型住宅」への理解を深めるために行われたものです。

当日は、盛岡市を中心に22名が参加し、最初に、宮古市内の山林で、手入れの大切さを説明後、間伐体験を行い、木が倒れた瞬間には参加者から拍手が沸き起こりました。



次に、木材加工工場を見学し、製材から人工乾燥、製品

製造までの工程を学びました。

最後に、住宅2か所を見学し、現在、建設中の住宅では、設計士からの説明に熱心な質問等がありました。また、既に建設された「みやこ型住宅」では、施主自ら、建設に至った経緯等とともに非常に満足しているとの説明があり、説得力がありました。

これまで、イベント等で「みやこ型住宅」のPRを行っていますが、住宅側に重点が置かれがちで、川上との関わりが弱かったことから、消費者に山林の現場を見せることは意義があると感じました。

